

このコーナーに掲載希望の方は総務企画課(☎内線225)へお申し出ください。なお、原稿送付先は同課(メールアドレス:kuzumaki@town.kuzumaki.iwate.jp)まで。



近くに住む兄・保彦さん(左)と日立市の神峰公園で花見を楽しんだ松山義彦さん



松山 義彦さん (小苗代出身・茨城県在住)



茨城県東海村にある日本原子力開発機構に就職して35年になります。原子力全般の研究開発を行っている会社で、私が携わっている分野は原子力エネルギーの研究開発です。将来枯渇するであろう石油等の化石燃料に替わり、原子力により50年、100年以上も安定してエネルギーを供給できるようにしようというものです。聞いたことがあると思いますが、使用済核燃料の再処理、高速増殖炉「もんじゅ」もその一連の研究開発です。ほとんど原子力知識がないまま入社しましたが、ますますこの仕事の重要性を感じています。定年まで精一杯頑張ろうと思っています。

最近、年のせいか子どものころのことを思い出します。春のまばゆいばかりの緑、夏の盆踊り、秋のもえるような紅葉、冬のキラキラした雪、また見に行きたいなと思っています。子どものころは当たり前だと思っていたのですが、これらは葛巻の宝です。

もう一つの宝の話ですが、広島県出身の同僚が旅行で葛巻を通った感想として、「道路脇に延々と植えられた花がとてもきれいだった。誇りに思っているよ」と言ってくれました。道路脇に住んでおられる方々に感謝します。

近くに兄も住んでいるので、一言書いてもらうことにしました。

《松山保彦(兄)から一言》

葛巻を離れて早37年が過ぎました。日立市に住んでいます。こちらでの生活は葛巻の倍以上になりますが、葛巻の情景、風景を鮮明に思い出ことができます。

最近の葛巻は風力、太陽光、バイオマス発電を積極的に取り入れ、新聞やテレビで報道されるようになり、出身者として誇りに思っています。この分野を職業に持つものとして興味があり、3年前にこれらの施設を見学させていただきました。

日立製作所に就職したころは、どうせ葛巻と言っても分からないだろうと“岩手の北の方”としか話すことができませんでした。今では自信を持って“葛巻町です”と言えるし、相手も分かってくれます。会社の中にも葛巻町出身者が数名いるので、年2回くらい飲み会をして田舎話に花を咲かせ、葛巻出身として団結力を保っていければと思っています。



末永くお幸せに

〔世帯主〕

( 関村 貴文 四日市 定子  
 小山田 恵 八幡平市 実



やすらかに

〔世帯主〕

近藤 良亮 (88 田 子) 豊美彦  
小田 正雄 (76 星 野) ア キ  
岩泉 竹子 (84 寺 田) 宇 昭  
山崎 ハナ (78 小屋瀬) 猛  
清水 要助 (69 田 代) マ サ  
波紫兼太郎 (89 車 門) 春 美  
高橋 イト (92 新 町) イ ト  
小田 廣美 (70 星 野) ツ ヤ  
上山 キノ (93 江刈川) トヨミ

～以上3月届け出分～

※広報に載せて欲しくない方は届け出のときに係にお話ください。

町の人口

22. 4. 1 現在 (前月比)  
男 3,690人 (-34)  
女 3,904人 (-26)  
計 7,594人 (-60)  
世帯数 2,891戸 (-5)  
(住民基本台帳)

広報室から



広報の担当になりました和野です。この三年間、中での仕事をしていましたので、町内に取材に出かけ、町民の皆さんとお話でき、とても幸せと感じる毎日です。しかし、「わかりやすく伝えること」は、今の私にはとても難しい(葛巻弁の方が伝わる?)ですが、皆さんの協力をいただきながら、頑張りたいと思っています。澤口・櫻田ともどもよろしくお願ひします。(和野)

葛巻に来て、6年目。まさか、広報の担当になるとは…。今年には本町合併55周年の年。年間通してたくさんイベントが目白押し、ネタには苦労しない一年になりそうです。今月は、NHKラジオ公開番組、操法競技会、チャレンジデーなどがあります。カメラを片手に、たくさん葛巻の魅力について伝えていきたいと思えます。よろしくお願ひします。(櫻田)

「広報くずまき」は再生紙を使用しています。